
第1回新石垣空港活性化協議会議事概要

1. 開催概要

- (1) 日時 令和4(2022)年5月26日(木) 10時30分から12時00分まで
- (2) 会場 新石垣空港 国際線旅客ターミナルビル 1階
- (3) 出席者 中山 義隆 石垣市 市長
大浜 知司 竹富町 副町長
糸数 健一 与那国町 町長
武田 真 沖縄県企画部 企画振興統括監
谷合 誠 沖縄県商工労働部 産業振興統括監
大城 清剛 沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課 課長
前川 智宏 沖縄県土木建築部 土木整備統括監
曾根 淳 沖縄県八重山事務所 所長
池田 克紀 石垣空港ターミナル株式会社 代表取締役専務
- (4) 事務局 笠原 宗一郎 沖縄県八重山事務所 総務課 課長
中村 亘 沖縄県八重山事務所 総務課総務振興班 班長
我喜屋 ミカ 沖縄県八重山事務所 総務課総務振興班 主査
小切間 元樹 石垣市企画部 部長
玻座真 保幸 石垣市企画部 観光文化課 課長
渡辺 信宏 石垣空港ターミナル株式会社 施設課 課長
平岩 弘一 石垣空港ターミナル株式会社 総務課 主任

※いずれも敬称略

(5) 配布資料

- ① 第1回新石垣空港活性化協議会 次第(出席者名簿、配席図含む)
- ② 新石垣空港活性化協議会会則(案)
- ③ 新石垣空港活性化協議会の設置趣旨等について
- ④ 新石垣空港国際線旅客施設増改築工事竣工資料
- ⑤ 国内線ターミナルの現状と拡張検討における課題
- ⑥ 新石垣空港 2次交通調査概要説明資料
- ⑦ 新石垣空港 空港ユニバーサルデザイン診断において共有された課題について
- ⑧ 新石垣空港における課題・利便性向上等に関する取組
- ⑨ 運輸要覧抜粋資料
- ⑩ 新石垣空港における取り組み

2. 次第

- (1) 会則の承認
- (2) 会長挨拶
- (3) 出席者自己紹介
- (4) 新石垣空港活性化協議会の設置趣旨等について

- (5) 新石垣空港における課題又は利便性向上等に関する取り組み等について
- ① 石垣空港ターミナル株式会社
 - ② 石垣市
 - ③ 企画部
 - ④ 商工労働部
 - ⑤ 文化観光スポーツ部
 - ⑥ 土木建築部
- (6) その他意見交換
- (7) 次回開催予定等について

3. 議事

(1) 会則について

新石垣空港活性化協議会会則（案）は異議なく承認され、会則に基づき本協議会の会長に中山氏が就任した。

(2) 新石垣空港における課題又は利便性向上等に関する取り組み等について

- ①石垣空港ターミナル株式会社から新石垣空港の現況や国内線ターミナルビルの拡張検討案等について説明があった。
- ②石垣市（企画部観光文化課）から滑走路の延長や第2次石垣市観光基本計画での記載事項など新石垣空港における課題等について説明があった。
- ③沖縄県企画部から八重山地域における路線バス、貸切バス、タクシーの輸送状況等について説明があった。
- ④沖縄県土木建築部から旅客数の推移やエプロン拡張、アクセス道路の整備状況等について説明があった。
- ⑤沖縄県商工労働部から比較優位性を生かした国際貨物の取り組み内容・制度、現状の課題等について説明があった。
- ⑥沖縄県文化観光スポーツ部から離島周遊の促進や潜在的需要の掘り起こしなど誘客に関する考え方や観光二次交通における取り組み、課題等について説明があった。
- ⑦上記の説明ののち、出席者から以下の質問及び意見があった。

【中山会長】

- 八重山食肉センターがマカオの HACCP（ハサップ）を取得し、マカオに輸出できるようになった。また、4月にはタイへの輸出に関する厚生労働省の資格も取得し、石垣から海外に出荷できる体制になっている。今後、輸出の際は一旦沖縄本島に送らないといけないのか、それとも石垣から輸出していく方向性も作れるのか。

【谷合 産業振興統括監】

- 条件が揃えば石垣から輸出が可能。ただ、沖縄県の事業としても、現在は那覇から輸出しているわけではなく、羽田に集約して、羽田経由で香港等に輸出している。沖縄物流ハブの機能は、コロナ禍以前のようになるか見通しは立っていない。しばらくの間は、フォワーダーと連携しながら、どの経路で輸出するのか、実績を作る取り組みをしていただきたい。

【糸数 与那国町長】

- 与那国空港旅客ターミナルビルの男性・女性トイレが何年も前から故障したままである。与那国町にとっては重要な問題であり、早急に修繕してほしい。

【前川 土木整備統括監】

- 状況を確認し、できる対応を行っていききたい。

【大浜 竹富町副町長】

- 竹富町を訪れる観光客は新石垣空港を利用するのが大前提であり、空港や二次交通がしっかりと整備されることが、竹富町内への観光客の流入につながると認識している。また、第一航空の新石垣－波照間線が就航すれば、新石垣空港経由で波照間島に行くという経路も構築できると考えているので、そういったことも議題や報告として取り上げていただきたい。

【武田 企画振興統括監】

- 今状況を申し上げますと、第一航空さんと国との調整、調査等が続いている状況でありまして、就航の時期というのは我々もまだ情報入手していない状況です。

(3) その他意見について

出席者から以下の意見があった。

【中山会長】

- レンタカー不足が相当問題になってきているが、レンタカー会社が中古車を買って取って使用するなど、県内にある中古車を活用してはどうか。

【石垣空港ターミナル（株） 池田専務】

- 国内線旅客ターミナルビルの狭隘化の解消等の課題については、ターミナルビルだけでなく、空港全体や二次交通にも関わり、それから、県全体の交通施策・観光施策・物流施策にも関わることなので、空港及びターミナルビルの将来ビジョン（マスタープラン）をターミナルビル社、沖縄県土木建築部を中心とした関係部局、石垣市と議論しながら策定することとしたい。

【中山会長】

- 国内線のお客様は直行便の利用が多くなっているが、空港にはラウンジすらないという状況で苦情が寄せられている。また、保安検査場が相当混雑していて、特に機材が大型化しているため一気に行列ができてしまう。それらを改善するためには国内線旅客ターミナルビルを全体的に拡張するしかないのかなと思っているので、ぜひ前倒しで進めてほしい。

(4) 次回開催予定等について

第2回の開催時期は10月下旬～11月上旬の間を目処に開催することで出席者の了承を得た。

以上